

大阪大学経営協議会（令和3年度 第1回）議事要旨

日 時 令和3年6月7日（月）13時30分～16時10分

場 所 オンライン開催

出席者 西尾総長（議長）

池上、井野瀬、大石、来島、鈴木、多田、塚本、土屋、鳥井、中野、村尾、CASSIM、
米田、金田、田中、三成、河原、尾上、中谷、奈良、小笠原、竹村、馬場口、今里、
有川 各委員

欠席者 津賀、出口 各委員

議事に先立ち、西尾議長から、会議開催に必要な定足数を満たしている旨の報告があった。
また、前回（3月15日開催）の議事要旨については、事前に各委員に照会し、内容を確定
して本学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

続いて、西尾議長から、総長選考の結果及び箕面新キャンパスの開学について報告があっ
た。

議 事

【議事】

- 1 令和3年5月からの運営組織構成員について
西尾議長から、配付資料に基づき、5月2日付で理事1名が退任したこと及び理事の担
当の変更について報告があった。
- 2 本学における新型コロナウイルスへの対応について
田中委員から、配付資料に基づき、緊急事態宣言下における本学の新型コロナウイルス
への対応状況及びメディア授業に関する学部生アンケートの結果について報告があった。
また、西尾議長から、新型コロナウイルスワクチンの職域接種の実施予定について報告
があった。
- 3 総長参与の指名について
西尾議長から、配付資料に基づき、4月1日付で総長参与1名を指名したことについて
報告があった。
- 4 総長選考会議委員の選出について
西尾議長から、配付資料に基づき、総長選考開始に伴い欠員となっていた「理事のうち
から役員会において選出される委員」については、令和3年5月31日開催の役員会にお
いて金田、田中、三成理事を選出したことについて報告があった。
- 5 令和2年度資金運用実績について
中谷委員から、配付資料に基づき、運営費交付金等の事業資金による令和2年度の長期
及び短期の資金運用の実施状況について報告があった。

- 6 令和2年度決算報告について
中谷委員から、配付資料に基づき、令和2年度決算の概要と利益処分及びトピックスについて説明があり、審議の結果、これを承認した。
- 7 令和4年度概算要求について
金田委員から、配付資料に基づき、令和4年度概算要求における本学の方針及び施設整備事業に係る要求事項について説明があり、審議の結果、これを承認した。加えて西尾議長から、国における第4期中期目標期間の運営費交付金に関する検討状況と、国立大学法人がおかれた状況について説明があった。
なお、学外委員より以下のような意見があった。
- ・カーボンニュートラルへの取り組みに関しては、産業界や国の研究機関、経産省などと連携し、一体となって進めることも有効である。大学発ベンチャーを通じた連携等も検討してはどうか。
- 8 教職員の給与について（①災害派遣医療等手当の新設について、②令和3年6月期の教職員賞与及び役員賞与について）
奈良委員から、配付資料に基づき、災害派遣医療等手当の新設と、令和3年6月期における教職員賞与及び役員賞与の支給基準等について説明があり、審議の結果、これを承認した。
- 9 役員退職手当に係る業績勘案率について
西尾議長から、配付資料に基づき、令和3年5月2日付で退任した理事の退職手当の算定時に総合的に勘案する業績勘案率について説明があり、審議の結果、これを承認した。
- 10 第3期中期目標期間（4年目終了時）に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について
三成委員から、配付資料に基づき、第3期中期目標期間における4年目終了時評価に関する評価結果（原案）について説明があり、審議の結果、これを承認した。
なお、学外委員より以下のような意見があった。
- ・リスク管理の観点から、情報漏えいのリスクに配慮しつつ、情報共有の在り方やその具体的方法については留意が必要である。
- 11 令和3年度 大学機関別認証評価の受審について
三成委員から、配付資料に基づき、大学機関別認証評価の受審に係る方針及び今後のスケジュールについて説明があり、審議の結果、これを承認した。
- 12 第3期中期目標・中期計画（指定国立大学構想）に関する進捗状況＜令和2年度特筆すべき成果＞について（令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案））
西尾議長から、配付資料に基づき、第3期中期目標・中期計画（指定国立大学構想）に関する進捗状況を中心に、令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について説明があり、審議の結果、これを承認した。

1 3 第4期中期目標・中期計画（素案）について

三成委員から、配付資料に基づき、第4期中期目標・中期計画（素案）及び今後のスケジュールについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、学外委員より以下のような意見があった。

- ・マスタープランは非常に重要であり、自らが高い志を持ってこれからのロードマップを作成したという事実が1つの精神的な支えにもなると思う。このことは非常に高く評価すべきである。
- ・中期計画については、その取り組みの評価をさまざまな指標で判断することになると思うが、産業界等の社会と連携して進める課題については、評価の際にも使えるよう、計画の達成度を把握するフィードバックの仕組みを設けておくとのよいのではないか。これを対外的に示すことで、国立大学の存在意義が高まるとともに ESG 投資等呼び込めるようになると思う。
- ・全学一体となって取り組むべき大きな課題については、従前どおり各戦略会議を活用して対応するとともに、これまで以上に総長自らが課題に直接触れる機会や場所を設けて取り組んでいくことで、さらに強力かつ着実に推進してもらいたい。
- ・中期計画の「数理科学・データ科学・情報科学教育の強化と全学体制の構築」に対する主な評価指標として「数理・データ情報科学科目数」を挙げているが、デジタル関連人材及び情報関連人材の育成の緊急性や必要性に鑑みると、専門人材の輩出数など、別の指標も検討してはどうか。
- ・国においても議論がされているところだが、例えば10年、15年後に到来するであろう少子超高齢社会のなかで大学がどのような在り様をしているのか、といった話を組み込んでいくことで、大学が目指すべき将来の姿がより分かりやすくなるのではないか。

1 4 前回のご意見に対する取組状況について

西尾議長から、配付資料に基づき、前回の本協議会で学外委員からいただいた意見や助言に対する取組状況について報告があった。

【その他】

1 創立90周年・100周年記念式典について

西尾議長から、当初の予定から令和3年9月14日に開催延期としていた「大阪大学創立90周年・大阪外国語大学創立100周年記念式典」及び「記念講演会」を再度延期とし、令和4年の本学の創立記念日である5月1日開催とすることについて報告があった。

(以 上)